

AI活用し配送効率化、残量遠隔監視も

この冬、石川県も例年を自動的に計測。得ムタンクに設置し年にならない大雪に見舞われたデータをもとに、内蔵の電池で動作したが、大城エネルギーに、最適な給油時期や、計測したデータは1(本社・能美市)小配送ルートを生産して「Dr. Drive」松支店「Dr. Drive」くれる。

ve浜田町店」(EN 配送を担当していたEOS系)では、雪国ベテランが引退するこ生活に欠かせない灯となった約5年前、油の配送を、タンク残元売から「業務引継ぎ量」が遠隔監視できるスが簡単に配送の効率化を

大城エネルギー(石川県能美市)

を活用して効率的に行っている。

GoNOW(ゼロスペック)

札幌市のIT企業が「ゼロスペック」が開発した自動発注・配送管理システム(GoNOW)で、タンクに取り付けたセンサーが残り

雪国の強い味方！スマートセンサー



①配送用ローリーの前で導入のメリットを語る山口マネージャー②タンクに取り付けるセンサー(右)とアタッチメント③AIが提案した配送ルート



山口マネージャーは「センサーの精度が上がり、信頼性がさらにアップした。これからの入の確保がますます難しくなる中で、ほとんどシステム任せで配送計画が立てられるようになったのは心強い」と話している。

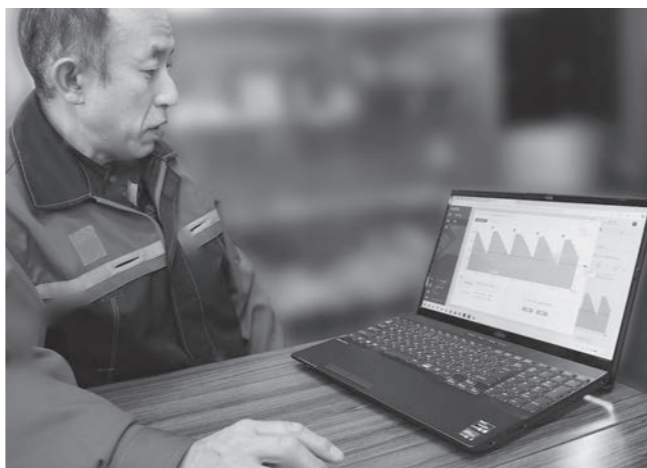
するため、誤差がつきもの。また、配送先を簡単な予定表で管理していたせいで、担当者が休んだときは一から住所を調べ、配送ルートを作る作業が大変だった。

山口順平マネージャーによると、システム導入後は人に頼る作業が大幅に減り、従業員への負担軽減と配送コストの削減につながった。昨年の能登半島地震の際は、配送先のタンクが傾いて灯油が漏出したことが残量データの變動でわかり、油漏れ被害の拡大防止にも役立った。

国の補助制度を活用し、同店ではこのほどセンサーを新型に交換した。

山口マネージャーは「センサーの精度が上がり、信頼性がさらにアップした。これからの入の確保がますます難しくなる中で、ほとんどシステム任せで配送計画が立てられるようになったのは心強い」と話している。

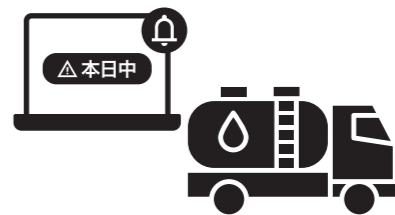
新しい灯油配送、始めてみませんか？



灯油残量が測れる

どこでもネットで確認

灯油が減ったら配送



25年も補助金を利用できます！

24年 石油協会補助金 36社利用実績

※最大2/3補助

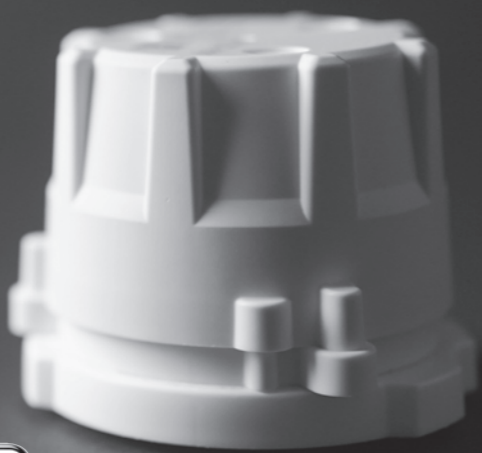
[SS等の地域配送拠点における災害対応能力強化事業 対象設備]

価格が知りたい！
センサースペックが知りたい！
システムでできることが知りたい！
活用事例が詳しく知りたい！

GoNOW

<https://5-now.com/>

全国41都道府県
センサー7万台
300社運用



ZEROSPEC
ゼロスペック株式会社(北海道札幌市)

お問い合わせ

011-218-0155

※土・日、祝日を除く10:00~18:00

GoNOW

検索

オンライン
商談受付中

